

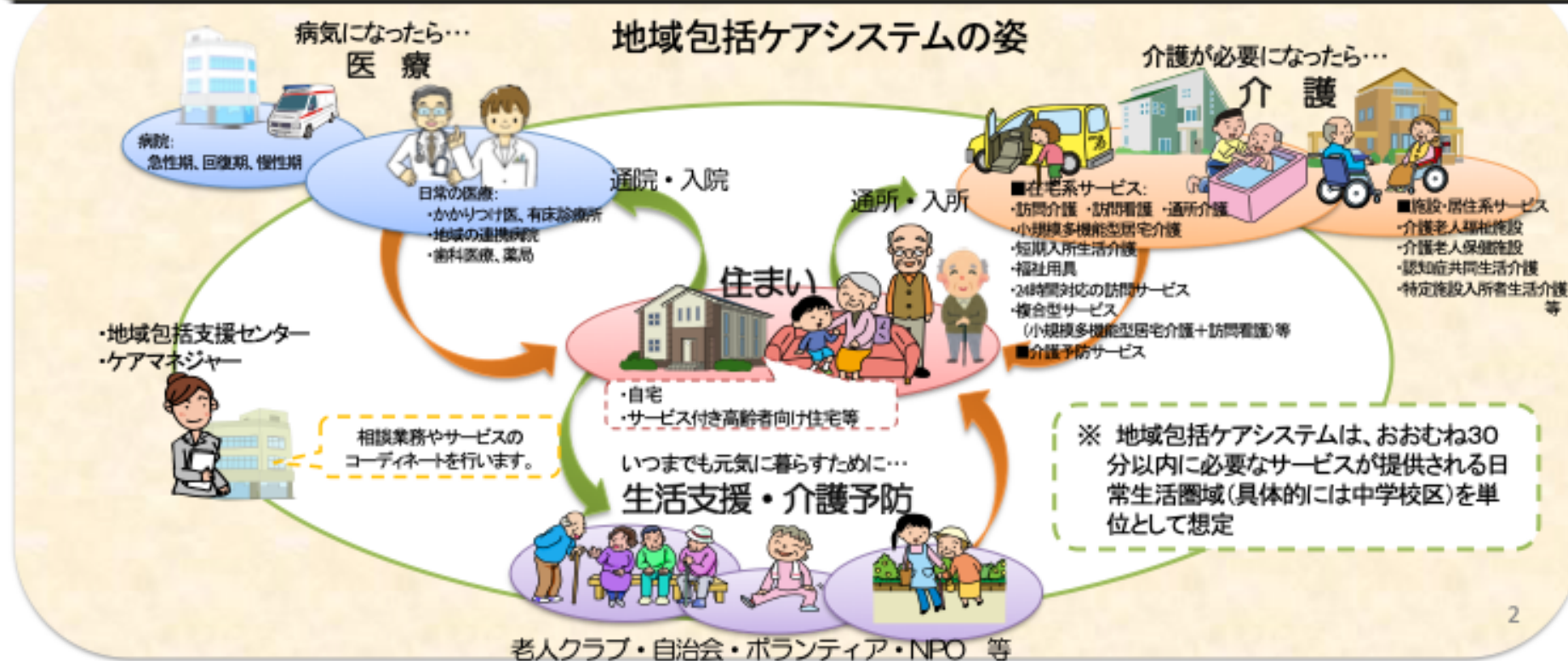
静岡市における地域包括ケアシステムの現在地

病診連携と医療介護連携
～それらを支え, 持続させる様々な取り組み～

2006年

地域包括支援
センター設置

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制(地域包括ケアシステム)の構築を実現。**
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差。**
- 地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基つき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要。**



医療, 介護, 介護予防, 住まい及び生活支援が包括的に提供される地域資源を揃え, ネットワークを作る.

在宅医療・介護連携の推進

2016年

医療介護連携
推進センター
設置

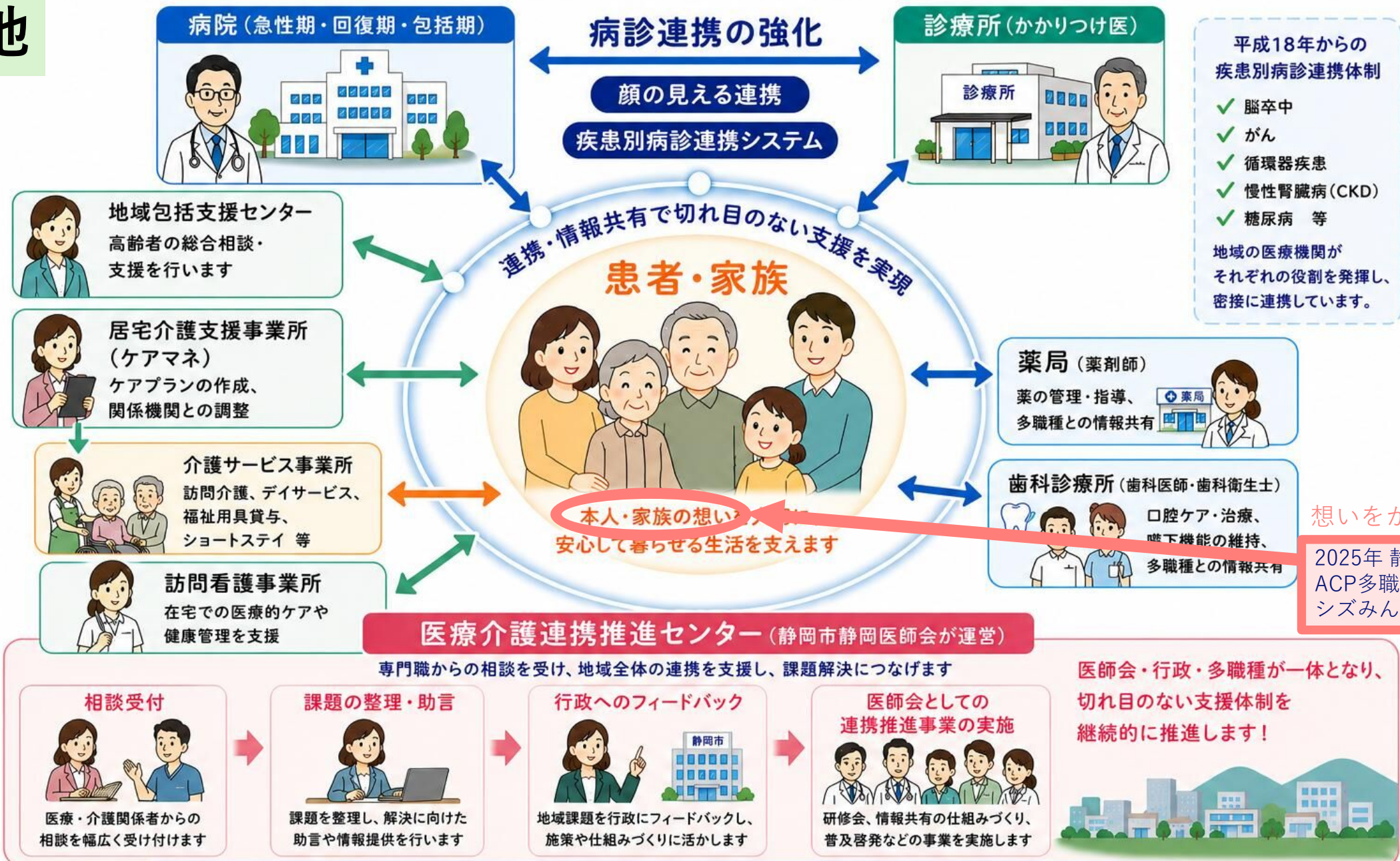
- 医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域における医療・介護の関係機関（※）が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療・介護を提供することが重要。
 - （※）在宅療養を支える関係機関の例
 - ・診療所・在宅療養支援診療所・歯科診療所等（定期的な訪問診療等の実施）
 - ・病院・在宅療養支援病院・診療所（有床診療所）等（急変時の診療・一時的な入院の受入れの実施）
 - ・訪問看護事業所、薬局（医療機関と連携し、服薬管理や点滴・褥瘡処置等の医療処置、看取りケアの実施等）
 - ・介護サービス事業所（入浴、排せつ、食事等の介護の実施）
- このため、関係機関が連携し、多職種協働により在宅医療・介護を一体的に提供できる体制を構築するため、都道府県・保健所の支援の下、市区町村が中心となって、地域の医師会等と緊密に連携しながら、地域の関係機関の連携体制の構築を推進する。



医療と介護の連携は、訪問診療だけではなく 外来(通院)診療においても重要。

静岡市における病診連携と医療介護多職種連携による地域包括ケアシステム

現在地



小括

- 静岡市静岡医師会・静岡市清水医師会では、疾患別病診連携システムを核とした会員診療所と病院相互の顔の見える連携を構築している。
- 地域包括ケアシステム、医療介護連携の推進は、静岡市と両医師会に加え、他の職能団体も参画し多職種が協働しやすい環境づくりに努めている。
- 多職種連携による意思決定支援、ACPの必要性が幅広い分野で浸透してきており、ACP多職種連携ツールの利用が始まっている。

在宅医療・介護連携推進事業の手引きの分類							事業	取り組み内容	関わりのある職能団体等								
A	B	C	D	E	F	G			市	包	医	歯	薬	ケ	訪	病	
A入退院支援の場面／B日常の療養場面 C急変時の対応の場面／D看取りの場面 E認知症の対応／F感染症発生時 G災害時対応							医師会事業	在宅包括委員会の設置 相談報告をもとに課題抽出（毎月）	○		○			○			
		○	○					在宅安心連携システム			○			○	○		
○	○			○				認知症医療連携システム			○				○		
○	○	○	○	○			医療・介護連携推進センター主体事業	身寄りがない高齢者が医療を受けるにあたって必要な支援に関する対応シート（R7年度）		○	○			○		○	
○	○	○	○	○				静岡市ケアマネット協会へのアンケート調査（R5年度）			○			○			
○	○	○	○	○	○			訪問看護ステーションアンケート・訪問聞き取り調査（R7年度）			○				○		
○	○							病院連携窓口シート作成（R8年度） ケアマネジャーと訪問看護師が書類等のやり取りをする際の病院窓口のシートを作成（外来と入院）			○				○	○	○
○	○	○	○	○				ケアマネジャーの困りごと相談会（R7年～）			○				○		
○	○							静岡ケアマネット協会へのワンポイントアドバイス掲載（R7年～）			○				○		
○	○	○	○	○	○			関係機関への訪問聞き取り調査 ・病院（2～3年毎） ・地域包括支援センター（葵区駿河区を交互に毎年）			○	○					○
○	○	○	○	○				PDCAサイクルに沿った取組 PDCAサイクル表（①相談内容・背景②課題抽出③計画・実行④評価・次年度への展望）を作成し、それに沿って事業を展開し報告した（R7年度～）	○		○						
○	○	○	○	○	○	○	専門職からの電話相談対応	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○			ニュースレター発行（医師のコラム・相談をもとに情報提供等）	○		○							
○	○	○	○				在宅医療に関する意見交換会（年1回） *静岡市在宅医等養成研修との共催 ・ユニバーサル・ホスピスマインドを（R5年度） ・幸せに最期を迎える為の「備え」と「覚悟」（R6年度） ・すべての人に緩和ケアを（R7年度）	○		○							
○	○	○	○				意見交換会（年1回） ・ひとりケアマネジャーの意見交換会（R5年度） ・新任ケアマネジャーの意見交換会（R6年度） ・病院相談員とケアマネジャーと地域包括支援センターとの意見交換会（R7年度） ・病院相談員と訪問看護師とケアマネジャーとの意見交換会（R8年度）	○	○	○				○	○	○	

在宅医療・介護連携推進事業の手引きの分類							事業	取り組み内容	関わりのある職能団体等								
A	B	C	D	E	F	G			市	包	医	歯	薬	ケ	訪	病	
A入退院支援の場面／B日常の療養場面 C急変時の対応の場面／D看取りの場面 E認知症の対応／F感染症発生時 G災害時対応								スーパーバイザーの派遣 ・地域ケア個別会議 等 ・地域包括支援センター センター長会議 ・静岡市在宅医療・介護出前講座 講師	○	○	○						
○	○	○	○	○			静岡市事業 (医師会協力事業)	居宅介護支援事業所向け診療情報提供書改定と運用規定の策定 医師とケアマネジャーの連絡票改定	○		○			○		○	
○	○	○	○	○				エンディングノート作成・周知推進	○	○	○			○	○	○	
○	○	○	○					在宅医等養成研修 ・同行訪問研修(R2年度～) 変遷：H29～H30年在宅医療現場体験モデル事業（県医師会委託事業） R1年度 在宅包括委員会事業 ・同行訪問研修報告会	○		○						○
	○			○				認知症疾患医療センター事業 静岡市認知症対策推進協議会事業 もの忘れ健診 認知症の人を地域で支えるまちづくりの推進に関する協定（4者協定。認知症ミニ講演会など）	○		○						○
○	○	○	○	○	○			重層的支援対整備事業 複雑化事例の周辺を含めた横断的支援（医療介護福祉、公共サービス、インフラ）	○	○	○				○	○	
○	○	○	○	○	○			在宅医療、介護、高齢者に関連する静岡市の会議等への委員派遣（次頁参照）	○		○						
○	○	○	○	○				終活情報登録・伝達事業 S救セットの配布 静岡市終活支援優良事業者認証事業	○	○	○				○	○	
○	○	○	○	○	○	○		在宅医療提供体制構築モデル事業 (県医師会からの委託)	他職種団体との意見交換会 ・静岡市葵区駿河区訪問看護ステーション連絡会（毎年） ・静岡市ケアマネット協会（毎年） ・イエローカードシステムに参加している急性期病院（R5年度） ・地域包括ケア病棟を有する病院（R4年度） ・地域リハビリテーション広域支援センター（R5年度） ・グループホーム連絡協議会（R4年度） ・急性期病院・静岡市ケアマネット協会との合同意見交換会（R5年度） 静岡ケアマネット協会へのアンケート結果をもとに連携に関する課題の協議 ⇒情報共有方法の統一と運用方針による夜間を含む直接訪問、長時間の拘束等、ケアマネ業務におけるシャドウワーク軽減の試み							○	○

在宅医療・介護連携推進事業の手引きの分類							事業	取り組み内容	関わりのある職能団体等							
A	B	C	D	E	F	G			市	包	医	歯	薬	ケ	訪	病
A入退院支援の場面／B日常の療養場面 C急変時の対応の場面／D看取りの場面 E認知症の対応／F感染症発生時 G災害時対応									市：静岡市／包：地域包括支援センター／医：医師会（医療・介護連携推進センターを含む）／歯：歯科医師会／薬：薬剤師会／ケ：ケアマネット協会／訪：訪問看護連絡会／病：病院（急性期、回復期、療養型、精神等）							
○	○	○					在宅医療・介護連携情報システムモデル事業 （県医師会からの委託）	多職種コミュニケーションツール（シズケア*かけはし等）の利用促進 ・希望施設（急性期、回復期、精神科病院等）へタブレット端末の無償貸与（H30～R2年度） ・希望施設（特養）における初期設定及び患者情報の入力作業の提供（R3～R5年度）			○					○
○	○	○					シズケア*かけはしの活用による地域づくり推進事業 （県医師会からの委託）	・シズケア*かけはし推進員の選任（R7年度～） ・シズケア*かけはしの活用による地域づくり推進事業報告会への参加			○					
○	○	○	○		○	○	静岡県在宅医療提供体制整備事業	・在宅医療に必要な連携を担う拠点として手挙げ（静岡・清水両医師会／R6年度～） ・積極的医療機関として手挙げ（静岡市内11病院、28診療所）			○					○

※在宅医療、介護、高齢者に関連する静岡市の会議

静岡市健康福祉審議会（介護保険専門分科会）【高齢者福祉課】

静岡市老人ホーム入所判定委員会【高齢者福祉課】

静岡市在宅医療・介護連携協議会【地域包括ケア推進課】

静岡市認知症対策推進協議会【地域包括ケア推進課】

静岡市高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会【地域包括ケア推進課】

静岡市地域包括支援センター運営協議会【地域包括ケア推進課】

静岡市認知症初期集中支援チーム検討委員会【地域包括ケア推進課】

静岡市健康福祉審議会（高齢者保健福祉専門分科会）【福祉総務課】

生活保護法に係る囑託医【福祉総務課】

介護認定審査会【介護保険課・44名】